

## < 2010年 >

### < 南アフリカ・ワールドカップ・観戦記 >

(前書き)

98年フランス大会は、日本旅行のツアーで2試合。2002年日韓大会、準決勝を含めて4試合。06年ドイツ大会は3家族9人での珍道中、3試合観戦。南アフリカにも行くしかないでしょう。

「治安が悪い」「日本代表弱い」「日本から遠い・高い」「観光地がない？」色々言われていました。ホテルとスタジアムは安全、でその往復はどうしよう。ということで、県協会のツアーでいくつもり。「ドイツと一緒にいった、タカタニ氏は日本戦1試合観戦で、ツアーを企画中。ケンゾー氏はブラジル大会にそなえる。」と言う。石川県協会の観戦ツアーが無い。とわかったのが今年の3月。あわてて、大手旅行代理店の観戦ツアーをさがす。

初戦、カメルーン観戦ツアーは60万～55万円。2戦目オランダ戦は55万～50万円。3戦目デンマーク戦だと50万～45万円。初戦を見たいがお金が……。日本旅行、デンマーク戦のツアーで申し込む。同行は大学生の娘M。タカタニ氏はその後家庭の事情により残念ながらキャンセルでした。

6月21日(月)

JR金沢駅9時13分発のはくたか7号に乗車。越後湯沢で新幹線、東京駅からは成田EX。成田空港には14時半くらいに到着。同行M夜遊びのしすぎ？「風邪をひいてのどが痛い。」と空港の薬局で、風邪薬やのど飴を買い込む。空港の銀行にて南アフリカ・ランドに両替。私5万円、Mも同じく5万円(1ランド=13円くらい?)

日本旅行のツアーは17,8人。航空機のチケット発券のカウンター横にて、ケーブルテレビ、あるいは地方局のインタビューを受ける。「日本2対0デンマーク」と答える。

成田発18時20分のJALにて香港へ向かう。ワインに機内食、ビデオで映画を見ているうちに22時頃香港着。約2時間の待ち時間の後、23時50分発のサウス・アフリカ航空に。一路、南アフリカへとインド洋上空を飛行。

6月22日(火)

ヨハネスブルグ到着、現地時間7時半くらい。税関で「どこの何便の飛行機で来たのか？」と聞かれておろおろするも、無事南アフリカの大地を踏む。他のツアー客を30分くらい待つ。その間に空港内にてワールドカップのおみやげ等を売っている店を見て回る。ツアーの同行客の1人が、早くもブブゼラを買ってくる。

9時過ぎに日本旅行の貸し切りバスにて、ヨハネスブルグ郊外のホテルへ向かう。車は左側通行、高速道路は片側4～5車線もある。10時半ホテルに到着。

ホテルは「ロードロッジ・カーニバル・シティ」と言う、レジャー施設(アミューズメントパーク)の広い敷地内の一角にある。ロードロッジの回りは高いフェンスで覆われていて、入り口にはゲートがあり、警備員がいる。

チェックインまで時間があるので、カーニバル・シティ内へ入るメンバーズ・カードをツ

アー客順番に作ってもらう。私とM、時間つぶしにカジノへ。10ランド（130円）分カードにお金を入れる。いわゆる「スロットマシン」に挑戦する。絵柄がそろると、コインがジャラジャラではなくて、カードの残高が増えるしくみのようだ。

しばらくすると残高ゼロに。カーニバル・シティ内のファーストフード街へ行く。Mが「食欲ない。ケンタッキーでいい。」と言う。南アフリカ現地での最初の食事がケンタッキーか……。しょうがない、チキンとハンバーガーを注文する。日本と同じような大きさ。ファーストフード街にはアルコールが売っていないようで、コーラを飲む。

昼食後、再度カジノに挑戦。今回は奮発して100ランド。1時間しないうちに残高ゼロ。ギャンブルの才能なし。カーニバル・シティ内にどんな店があるのかゆっくり回ってから、ホテルに戻ってチェックイン。

M「のど痛い、寝る。」と言う。私はカーニバル・シティ内のパブリックビューイングに、16時キックオフの南アフリカ対フランスの試合を見に行く。フットサルコート2面とれるくらいの広さ。1階席はテーブルがあり飲食ができるようだが、予約席。2階席の椅子席にてビールを飲みながら観戦。隣は横浜からツアーに参加したという、30代後半の男性。ドイツ大会では保育所に通っている息子と観戦したらしい。試合が始まる少し前から地元民で席が埋まる。ブブゼラの音で隣の日本人とも会話がなりたない。めちゃくちゃうるさい。メインの南アフリカ戦の横に小さいスクリーンで同時進行の「メキシコ対ウルグアイ戦」も映っている。南アフリカ、フランスに勝つが、得失点差にて予選で敗退。地元民そんなに悔しがる様子もなく、たんとんと帰って行く。

19時過ぎ、Mを起こして夕食に出かける。カーニバル・シティ内には4、5軒ちゃんとしたレストランがあるようだ。Mは食欲がないと言うので、中華も日本食もあるオールマイティのレストランに入る。私は地元のビールにシュリンプのなんとか？と言う料理と牛肉入りチャーハンを、Mはおにぎり1個とみそ汁を注文する。

シュリンプのなんとかは、皿一杯のエビ入りのせんべい（えびチリの横にあるせんべい？）だった。Mのおにぎりは冷凍物、みそ汁はインスタントの粉末を溶かした物？がっかりの夕食だったが、日本旅行の添乗員数人も同じ店に入ってきた。

食後、カーニバル・シティ内のスポーツバーへ行くが、ツアー客の日本人たちは誰もいなかった（パブリックビューイングにいたらしい）のでホテルへ戻りテレビを見て、シャワーして寝る。このホテルはシャワー設備のみでバスタブが無かった。

6月23日（水）

南アフリカ2日目、朝6時過ぎの早起き。ホテル・ロードロッジ1階のカウンター前ホールにて、パン、卵料理、ハム、チーズ、コーヒー（ジュース）という、アメリカンタイプのブレックファースト。（あとの3日間も同じ）

7時バス出発。今日はオプションツアーでマブラ動物保護区でのサファリ。1人29500円。バスは高速道路をひた走る、途中トイレ休憩が一度。街を抜けると、赤茶けた荒れ地。道沿いは黒く焦げたあとが多数ある。（煙草の投げ捨てによるものらしい）3時間以上バスに乗って、10時半ころようやくマブラに到着。四駆のオープンカー数台に分乗し、サファリラリーが始まる。20分くらい草原の中を走ると最初の野生動物を発見。とにかく広い草原の中を走り回る。動物がいたら、停車して撮影会。運転手は動

物を見つけるたびに「ナンバー・ワン・ドライバー」と連呼していた。シマウマ、サイ、ゾウ、キリン、ダチョウなどがいた。ワニもいたようだが寝ていて枯れ木と区別がつかなかった。残念ながらライオンはいない。

13時過ぎ、マブラにて、バイキング形式での昼食。ワイン2杯は別料金。

14時30分出発、帰りは、おみやげ屋さんへつれていかれる。ここももちろん高い塀があり、バスが入ると門がしまる。中高校生のおみやげにピンバッジなどを買う。晩酌用のワインを1本買う。やまやで1000円くらいのワインが700ランド、ちょっと高いがしょうがない。19時頃ホテルへ戻る。

夕食はカーニバル・シティ内で一番高そうなレストランへ。Mはミネストロスープ？を、私は、サラダ、ピザ、ステーキとワインをグラスで注文。しまったテーブルワインが1本（たぶん無料）おいてあるではないか。それに料理の量の多いこと。ステーキだけはなんとか完食。あとはもったいないが残す。食後はパブリックビューイング1階のテーブル席にて「ドイツ対ガーナ、サブ画面にてオーストラリア対セルビア」の試合を観戦。日本人ツアー客の隣のテーブル。なんと、料理も飲み物もタダ。ただし、ウイスキー（バーボン）を注文すると、スコッチしかないないといわれる。スコッチお代わりをたのむと、もう在庫がないと言われた。

6月24日（木）

いよいよ日本戦の日。でも試合は夜。一人で朝食に行き。ホテルの隣にあるショッピングモールへ買い物に行くためのタクシーの手配と、相乗りする人をさがす。

9時半出発。ホテルを出てすぐに左折、しばらく走って左折、はい到着。10分かからない。歩いてもすぐの近さ。でも危ないと言われればしょうがない。ショッピングモールも、もちろん高い塀に門あり。Mティッシュペーパー1箱とマスクをまず買う。それからいろいろな店をうろうろ、ブゼラやおみやげを買い、最後にスーパーに行き「ミネラルウォーターの1.5L、ワイン（昨日と同じ物が500ランド以下）、お菓子などを買う」昼食はマクドナルドのハンバーガーセット。ポテトの量は日本の3倍？ハンバーガーの味は今いちでした。12時半にタクシー乗り合わせにてホテルへ戻る。

ホテルを13時30分、日本旅行のツアーバスは出発。座席には「パン、リンゴ、ビーフではない肉？のジャーキー、チョコレート、コーラ」の夕食セット。午前中買ったワインとともにパンなどを食べる。ワールドカップ3大会連続日本戦を現地で観戦した。という理由でバスの中で「日本ガンバレーのコールをして欲しい。」と言われ、到着30分くらい前に「本田のゴール、遠藤のセットプレーからの得点、2対0か2対1で日本勝利。」と予言し、「ニッポン、ニッポン、ニッポン」と叫ぶ。（M動画で写し、日本に帰ってから大笑い。）

18時ラステンバーグ、ロイヤル・バフォケン・スタジアム到着。M変わった服装のサポーターを見つけては写真を撮りまくる。座席はカテゴリー1バックスタンド、ペナルティ・アークの延長線上。なんと前から2列目。隣にウルTRAS。2階席は空席が目立っていました。観客2万8000人。試合前、試合後は写真とりまくり、試合中はそれどころではなかった。標高約1500m、南半球は冬、雨の降らない乾季。夜の気温は3～4度、日本は夏だがこちらは冬。とても寒い。

カメルンに1対0、オランダに0対1。勝つか引き分けで、決勝トーナメントへすすめる。GK川島。DF駒野、中沢、トウリオ、長友。MF阿部、長谷部、遠藤、松井、大久保。FW本田。遠藤、FKで遅延行為、イエローをもらう。右サイドから本田のFK、ちょうど本田の背中越しに見る。「ゴーーーーール」ゴール左上に見事に決まる。長友スローイン遅延行為でイエロー。中央から、FK。遠藤、本田が並ぶ。「遠藤蹴れ」聞こえた？「ゴーーーーール」遠藤、見事に右上に決めた。前半2対0。後半PKをとられ川島いったんはじくも失点。終了まぎは、目の前で本田がねばり、最後は岡崎ゴール。3対1の完勝。決勝トーナメント進出決定、相手はF組1位のパラグアイに。試合会場はプレトリア、ロフトスバースフェルドに決まる。

23時スタジアム発、ワインを飲みながら歓喜の余韻にひたる。ホテル到着26時30分。M、日本へ電話していた。

6月25日（金）

遅い朝食後、11時30分出発。バスにてヨハネスブルグ市内観光。エリスパーク・スタジアム、ダウンタウンや中心街をバス内から観光、路上でフルーツや野菜、日用品など色々な物を売っている。南アフリカでは「成功した人々は1番に靴にお金をかける。2番目にはメガネ、3番目には時計。」という話であった。開幕戦が行われ、決勝戦の舞台でもあるメインスタジアム「サッカー・シティ」でバスを降り、撮影タイム。14時頃ショッピングセンターに到着。現地ガイドおすすめのレストランにて昼食。ツアー客10人くらいと同席、Mアボガドサラダ、私はワインとトルティーヤのようなものを注文。ここも大盛り。食後は地元の民芸品の並ぶ店へ、日本人だと言うと、どの店も「イナモト・スズーキ」と声をかけてきた。ツアーバスは17時ショッピングセンター発。18時30分スタジアム到着。

プレトリア、ロフトスバースフェルド、南アフリカでも古いスタジアム。決勝トーナメントで日本がパラグアイと戦うスタジアム。

座席はカテゴリー1、バックスタンドほぼ中央、前から6列目。昨日に続き大変良い座席。スペインは1勝1敗で負けられない。チリは2勝。大敗しなければ良い？

Fトーレスとの1対1をチリのGK飛び出してクリア。そのボールをビジャガ40mのシュート、無人のゴールへ。トーレス、チリDFからはげしいタックル（レッドカード）。こぼれ球をイニエスタがシュート。前半2対0。後半10人のチリ果敢に攻めて1点返す。残り10分くらいからはスペイン、ボールを回して、時間かせぎ。チリも無理しない。結局そのまま試合終了、2対1。スペイン1位、チリ2位でHリーグ終了。M写真とりまくり。

夕食はスタジアム内でビールとハンバーガー。ホテル到着は24時30分。

6月26日（土）

のんびり朝食、カーニバル・シティ内をふらふらし、イタリアン・レストランにてツアー客4、5人とビールにパスタの昼食。名刺を交換する。

13時ホテル出発。ヨハネスブルグ空港14時着。出発までの待ち時間、免税店にて最後の買い物。私はワイン3本セット。残金数ランドはMに寄付。M、メモ用紙のおみやげ

リストを見ながら買い物。メモの価格の倍以上の化粧品「値段が高い」と、日本まで電話をしている。その上、レジではお金が足りないと、大騒ぎ。後ろに並んでいた日本人が不足の約50ランドを支払ってくれた。

夕方17時発のサウス・アフリカ航空に搭乗。アフリカ大陸にもう一度来ることがあるのだろうか？

6月27日（日）

香港着12時15分。15時発のJALに乗り換え、成田空港20時20分着。

余裕をもって、JRにて新宿へ。しかし、成田空港、JR内でビールを買えず。JR成田EX内では日本旅行の添乗員がいて、「ビール売ってませんか。」と聞くがだめでした。23時に新宿着。いつものコンビニでアルコールを買おう思っていたが、なんと臨時休業。酒無しの夜行バス。日本に帰って最初の食事は、真夜中、途中のパーキングエリアの牛丼でした。

6月28日（月）

朝7時過ぎ金沢駅着。自宅へいったん帰り、すぐに職場へ。夜はテレビにて、決勝トーナメント「オランダ対スロバキア」観戦。

（あとがき）

南アフリカ・ワールドカップ・サッカー観戦。「治安が悪い」どこが？私の勤務する中学校では、やれカバンがない、ズックがない、サイフを盗まれた。「死ね、殺してやる」の言葉が日常的に飛びかっている。南アフリカの方がずーっと治安が良い。と思いました。「日本代表弱い。」ポジション・サッカーから、堅守速攻に変更。なんとこれまでの1番良い成績ではないですか。「遠い・高い」ウーーン、これはしょうがないです。ドイツ大会は家族4人で160万円、1人40万円でした。今回は成田往復、おみやげ、海外保険、電話代金などすべて含めて2人で120万円、1人60万円。

しかし、本田、遠藤の完璧なFK。岡崎のねばりのゴール。優勝したスペインの試合。がピッチに近い席で、生で見られて、とても満足でした。ドイツ大会ではすべて自分で苦労してツアーをくんだ達成感がありましたが、今回は、じわじわと喜びがわいてきています。

予選リーグが終わって、優勝ドイツ、2位ブラジル、3位スペインと予想しましたが、優勝スペイン、2位オランダ、3位ドイツ、4位ウルグアイでしたね。

4年後はブラジルです。片道29時間。南アフリカよりも遠い。でも、もちろん行きます。12月のボーナス払いでの借金が終われば、ワールドカップ貯金再開。4年後はMは社会人。変わりに息子Kは大学生？日本代表の予選リーグ3試合すべて見たいですね。

何とかなるでしょう・・・・・・・・・・。

が、その前にアジア予選突破ですね。